

のざき正志通信

通信 NO 8

2007年9月号(秋号)

のざき正志後援会発行

三条市議会議員 常に現場から！ 行動する 頼れる男！

ご挨拶

いつもお世話様です。

皆様から常日頃より声をかけて頂き、感謝申し上げます。夏には参議院選挙が行われました。公明党は選挙区2名、比例区7名を勝ち取ることが出来ました。次の勝利目指して更に頑張っております。党员、支持者の先頭に立ち、闘っております。今後も「大衆と共に」を忘れることなく、皆様の期待に応えるため、しっかり働いております。皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

街路灯が皆様の声で設置できました！（嘉坪川地内・新光町地内）



カーブミラーが皆様の声で設置できました！

参院選頑張りました！



野崎正志(公明党)平成19年6月定例会(6月11日3番目)の一般質問の概略を報告します。

1・グリーン購入について(野崎の質問)

製品やサービスを購入する際に環境への負荷が少ないものを選んで購入するグリーン購入について。市役所の更なる促進は、持続的な循環型社会を形成するうえで重要な役割を果たしている。現状をどのように評価しているのか。職員への啓発はどのようにしていくのか。毎年度、公表されていないのはなぜか。

長谷川市民部長(答弁)

十七年度は目標に対し、高い実績を達成している。今後も引き続き、グリーン購入を推進していきたい。職員に対する啓発は、人と地球に優しい率先行動計画の中にある研修の実施や、自己評価などの啓発に努めて生きたい。年二回、公表できるように努力したい。

2・バイオマスタウンの取り組みについて(野崎の質問)

大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システムは自然の浄化能力を超えて、地球温暖化、廃棄物、有害物質等の様々な環境問題を深刻化させている。バイオマスを燃焼することにより放出される二酸化炭素の特性は地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの排出削減に大きく貢献することが出来るとされている。本市の取り組みの状況はどうか。利活用の資源はどのくらいあるのか。今後の見通しはどうか。

国定市長(答弁)

利活用の推進そのものは環境問題にとどまらず、地域経済など、その効果は各般にわたるものと思う。バイオマスタウンを今年、秋を目途に構想を策定していきたい。具体的な利活用についてはまだ、これといったものに行き着いてはいないが、利活用の資源がどのくらいあるのか重点課題として取り組んで生きたい。

第21回参議院選挙の結果について

公明党は選挙区5名中3名の当選(後日、松あきら 繰上げ当選)比例区7名当選776万票(加藤しゅういち当選)することが出来ました。

今回の選挙戦で、わが党は、「未来に責任を持つ政治」を実現していくための具体策を盛り込んだ政策綱領「マニフェスト2007」を掲示し、支持を訴えてまいりました。わが党に寄せられた有権者の皆様のご期待におこたえするため、お約束した政策の実現に全力で取り組んでまいります。

今回の選挙結果を真摯に受け止め、「次は必ず勝つ」と新たな決意で捲土重来を期してまいります。公明党に対する皆様の一層のご支援を心からお願い申し上げます。

のざき正志 後援会

住 所：〒955-0057 三糸市新光町8-4

TEL/FAX：0256-35-2341

http://www.komei.or.jp/giin/sanjo/nozaki_masashi

お気軽にご相談ください。